<令和4年度 ICT 活用促進プロジェクトモデル校事業・学力向上実践推進校 藤岡市立西中学校>

学年・教科:2年・理科 単元名:「生物の体のつくりと働き」

ねらい: 植物と動物の体のつくりと働きを比較し、共通点・相違点を見いだす活動を通して、両者には同じ生物として 生命を維持するしくみがあることを説明できる。

教師の発問、生徒の反応 ◎学びのつながり ★ ICT の活用

<u>これまでの学習を振り返るとともに、本時のめあてを設定する。(3分)</u> これまで

- ◎★植物と動物の体のつくりと働きについてまとめた Jamboard を振り返り、両方を並べ、共通点や相違点に着目させる。
 - S:比べてみると、どちらも呼吸しているなど、似ている点がありそうだ。

<めあて> 植物と動物の体のつくりと働きを比較すると、どのようなことがいえるだろうか。

ここでは

- 2 植物と動物の体のつくりと働きについての共通点や相違点を整理する。【個人】(10分)
- ★これまでの学習内容をまとめた Jamboard を活用しながら、植物と動物の体のつくりと働きをベン図に整理することで、既習事項を活用して両者の共通点や相違点を見いだせるようにする。
- ・個人で植物と動物の体のつくりや働きをベン図に整理させることで、両者の共通点や相違点 を視覚的に捉えやすくする。
 - S: どちらも呼吸をしていたな。
 - S:植物は光合成ができたな。
 - S:植物は道管・師管で、動物は動脈・静脈と名前は違うけど、どちらも2種類の管があるな。
- 3 個人で整理した Jamboard を基に、各班で 1 つに集約する。 【グループ】 (10 分)
- ★個々に整理した意見を1つに集約し分類することで、多様な意見に触れられるようにする。
 - T: 班で1つの Jamboard にまとめ、共同編集でグループ分けしましょう。
 - S:植物は養分を自分でつくっているけど、動物は養分を取り入れているよね。
 - S:でも、どちらも養分や水が必要だね。
 - S:植物は、動物と違って消化管がない代わりに、光合成しているんだね。
- 4 各班で集約した Jamboard について発表し、全体で共有する。【全体】(10分)
- ・各班で考えた共通点や相違点を学級全体で確認し、班で気付かなかった意見を取り入れられるようにする。
 - S: どちらも管が全身に張り巡らされています。
 - S:植物は光合成するが、動物は光合成しない代わりに栄養を外から取り入れています。
- 5 各班の発表で出された共通点について、意見交流する。【全体・グループ】(10分)
- ・植物と動物の共通点に焦点化して意見交流することで、両者に共通している生命を維持する つくりや働きの重要性について、考えをもてるようにする。
 - T:植物と動物の共通点は、なぜどちらにも必要なのでしょうか。班で話し合ってみよう。
 - S:呼吸しないと死んでしまうからだと思う。
 - S:養分がないと生きていけない。
- 6 個人でまとめを書き、発表する。【個人・全体】(5分)
 - T:これまでの学習から、めあてに対するまとめを書きましょう。

くまとめ>

植物と動物には、同じ生物として生きていくために必要なしくみがある。

このあとは

- 7 本時の振り返りと今後の学習とのつながりを確認する。【個人】(2分)
- ◎T:第3学年では更に詳しく生物の成長や進化について学習をしていきますので、
 - この単元で学んだことを活用していけるとよいですね。
 - この単元を通して学んだことを振り返りに書きましょう。

<振り返り>(視点:単元をとおして学んだこと)

S:植物と動物の体のつくりは、生き方は違うが、共通点はどれも生きていくために絶対に欠かせないものだった。

学習の様子









